

加藤 雅 俊

専門は、現代政治学、比較政治学です。具体的には、理論研究として、比較福祉国家論、政治学におけるメタ理論などの研究に取り組み、事例分析として、オーストラリアを中心とした先進諸国における福祉国家再編の比較分析を行っています。

専門は上記のように政治学ですが、本ゼミでは狭義の専門にこだわらずに、より広く社会科学的な観点から、現代社会の諸問題を考えていきたいと思っています。

1. 専門演習の目標

- ①現状を所与とするのではなく、批判的・複眼的に思考すること
- ②相手の主張を正確に理解した上で、的確にまとめること
- ③自分の主張を、自分の言葉で、分かりやすく発信していくこと
- ④多様な意見とふれあう中で、自分の意見を相対化・刷新していくこと

これから社会で活躍していく皆さんにとって、大学生のうちに、上記の能力を身に付けておくことはとても重要であると、担当教員は考えています。現代社会に関するさまざまな文献を批判的に検討し、相互にディスカッションすることを通じて、これらの能力を少しずつ高めていってほしいと思っています。

2. 専門演習で扱う課題と内容

現代社会が直面する諸課題（例、貧困・格差、投票率の低下、環境問題、社会的排除、ジェンダー不平等、マイノリティー問題など、何でも OK）の中で、受講生の皆さんが興味・関心のあるトピックを選び、それに関連した新書を批判的に検討し、ディスカッションしていきます。そうすることで現代社会への感受性を高め、社会科学的な観点から、諸課題の原因や背景を分析し、処方箋を考察していきたいと思っています。また、個別の諸課題について考察するだけでなく、それらをマクロな観点到適宜位置づけることで、現代社会一般の特徴についても考えていきたいと思っています。

3. 授業の進め方・内容

本ゼミでは、受講生の皆さんに興味・関心のあるトピックを選んでもらい、それに関連した新書などを輪読していきます。報告者には、内容の要約、論点の提起、自分の主張などをまとめてもらいます。ゼミでは、報告をふ

まえて、さまざまな角度から一緒にディスカッションしていきます。ゼミでは多様なトピックを扱うことが予想されるため、一年後には多くの諸課題に関して、自分なりの考えがもてるようになっていられると思います。

4. 必要とする知識

社会科学的な思考法と一緒に身に付けていくことが目的ですので、特に必要な知識はありません。

5. 関連する分野・科目・知識

関連する領域は、社会学、政治学、経済学などの社会科学一般ですが、すべての分野に興味がある必要はありません。現代社会の諸課題の中に、興味・関心があれば十分です。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

特にありません。取り上げるテキストは、受講生の皆さんと相談の上で決めていきたいと思っています。また、担当教員のおすすめの文献については、適宜紹介していきます。

7. 独自に付加する選考方法

希望者が多い場合には、面接を実施する場合があります。

8. 受講生に望むこと

ゼミは、受講生の皆さんと担当教員で、一緒に作り上げていくものです。そして、ゼミで取り組んだことは、大学時代のいい思い出・財産になると思います。よりよいゼミ、そして実りの多いゼミになるように、皆さんの主体性に期待しています。